

市立三次中央病院 医学生 臨床実習Ⅱ（2週間・4週間コース）  
研修プログラム（麻酔科）

【実習の概要・目的】

症例を担当する麻酔科医と一緒に行動をして、周術期における患者管理のための基本的な知識や技術を経験・習得する。

【スケジュール】（月から金まで同一のスケジュール）

8:10 麻酔科・手術部合同カンファレンス

8:20～9:00 麻酔準備

9:00～16:00 症例担当（最終日は 15:00 ころから総括）

【到達目標】

・一般目標（GIO）

適切で安全な周術期管理が行うための麻酔に関する基本的な知識や技術、態度を身につける。

・到達目標（SBOs）

1. 麻酔科医や外科医、手術室スタッフと適切にコミュニケーションをとることができる。
2. 各種麻酔方法（全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、神経ブロック）について説明できる。
3. 麻酔の術前リスクを評価し、麻酔方法を提案することができる。
4. 麻酔の基本手技（静脈路確保、気道確保など）を実施することができる。
5. 手術中のバイタルサインを評価することができる。
6. 手術後の病態や疼痛管理について評価し説明することができる。

【評価方法】下記の項目について、一緒に症例を担当した麻酔科医からの報告を元に点数をつけ、合計 100 点満点で評価を行う。

- ・臨床実習における態度・積極性 20 点
- ・医療従事者としてのコミュニケーション能力 30 点
- ・麻酔に関する基本的な知識 30 点
- ・バイタルサインを評価する能力 10 点
- ・麻酔に関する基本的な技術の習得 10 点

【その他】

市立三次中央病院は備北地域の急性期医療を担う中心的施設ですが、麻酔科では市中病院で実施される一般的な手術に対する標準的な管理を行っており、地域医療に特化したものはありません。強いて挙げれば、高齢者の大腿骨骨折手術が多くみられますが、準緊急手術のため、実習期間中に経験できない可能性があります。

**【麻酔科指導責任者】**

主任医長 原木俊明

メールアドレス haraki@hiroshima-u.ac.jp